

研究主題 **進んで学び合い、主体的に探究する生徒の育成**
 ～ 「学校っていいな」「授業っておもしろいな」と感じられる協同学習を目指して ～

1 研究仮説

周囲の友だちとの関わりの中で学んだり、協力して探究したりして学び合う授業改善・実践を行うことで、学びに向かう力が高まり、学力の向上につながるだろう。

2 「木太中 協同学習」について

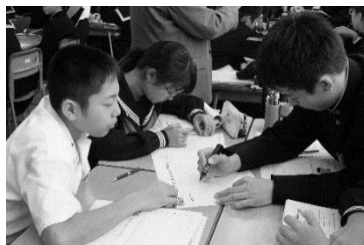
全体（コの字）、ペア、小グループでの学習の中で自分の考えをもち、周囲とコミュニケーションを取りながら、わからないことがわかるようになるまで探究する。教材、友だち、自分との対話を通して、自分の考えを深めたり再構築したりできる授業。

木太中 協同学習の約束

- 1 私語はしません。
友達の意見や先生の話をよく聴きましょう。
- 2 机をびったりくっつけます。
ペアやグループで活動しやすい環境にしましょう。
- 3 友達が「教えて」と言ったら教えます。
自分から「教えて」と言うようにしましょう。
- 4 「教えて」と言われたら、最後まで教えます。
ゆっくりじっくり相手に寄り添いましょう。
- 5 分からないことをそのままにしません。
途中で投げ出さず、根気良く取り組みましょう。

木太中 協同学習 教師の約束

- 1 学習環境の整備
 - ・机はびったりくっつける。
 - ・カバンはロッカーに
 - ・学習用具は机の端に
- 2 ジャンプ課題の設定
 - ・どの単元にも
- 3 生徒同士をつなぐ時間の設定
 - ・毎時間
 - ・ペアで確認、説明、伝え合う。
 - ・グループで追究、探究。
- 4 適切な声かけ・援助
 - ・個別に学習支援をするだけではない。
 - ・活動が停滞していたらケアする。
- 5 振り返りの時間をとる。
 - ・自分の言葉で表現させる。
 - ・気付いたこと、わかったこと、できるようになったことなど。



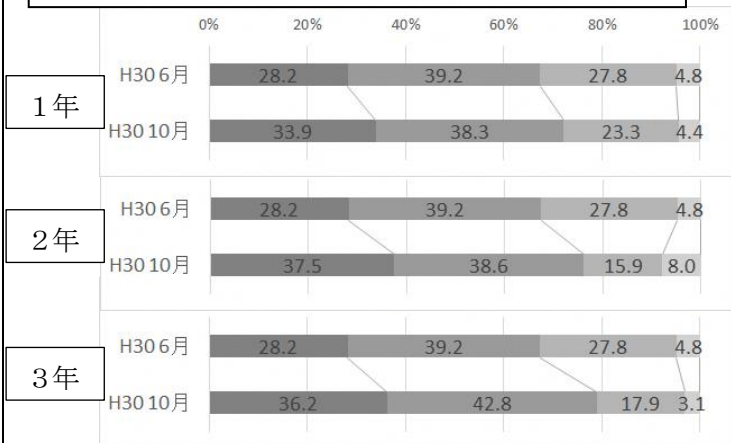
3 研究方法

- (1) 全教員が3つのグループにわかれて研究を推進する。
 - ① 授業改善グループ
 - ② なかまづくりグループ
 - ③ 生徒理解グループ
- (2) 校内公開研究会（年間4回）
2～4校時：全授業公開 5校時：研究授業 研究協議、全体会
- (3) 授業研究週間（各学期1回、2週間ずつ）

4 成果

生徒対象の授業に関するアンケートより
 「ペアやグループの活動で授業内容の理解が深まった。」

■とてもそう思う ■ そう思う ■ 少そう思う ■ 思わない



5 課題・今後の取組

生徒は、ペアやグループで活動することで、周囲の友だちに聞きながら学びを深められている実感をもっている。さらに学びを深めるためには、グループで一緒に探究するにふさわしい、質の高い課題が提示される必要がある。

しかしながら、そのような課題が示されていない授業も少なからずある。そのため、他校や授業研究週間等の実践事例を蓄積し、授業づくりの参考にしているが、日頃の授業からとなると教員に定着していない現状がある。今後は、どのような課題が適切かということに関して、一層研修を重ね、生徒が夢中になれるような授業展開を目指していきたい。